

## 地区概要

所在地	茨城県牛久市
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久ICより約3.0km</li> <li>JR常磐線 ひたち野うしく駅より約0.7km (東下根)</li> <li>ひたち野うしく駅 (牛久北部)</li> </ul>
地区面積	59.9ha (東下根) 174.3ha (牛久北部)
計画人口・戸数	6,000人・1,710戸 (東下根) 14,800人・5,140戸 (牛久北部)
事業手法	土地区画整理事業
施行期間	平成8年度～平成21年度(清算期間5年を含む) (東下根) 平成3年度～平成28年度(清算期間5年を含む) (牛久北部)

## 事業スケジュール

- 平成3年1月28日 / 都市計画決定 (牛久北部)
- 平成4年2月28日 / 事業計画認可 (牛久北部)
- 平成6年3月17日 / 都市計画決定 (東下根)
- 平成8年12月19日 / 事業計画認可 (東下根)
- 平成10年3月14日 / ひたち野うしく駅開業 (東下根・牛久北部)
- 平成10年4月5日 / ひたち野中央まちびらき (東下根・牛久北部)
- 平成20年6月20日 / 換地処分公告 (牛久北部)
- 平成23年6月 / 換地処分 (東下根)

## 地区位置図



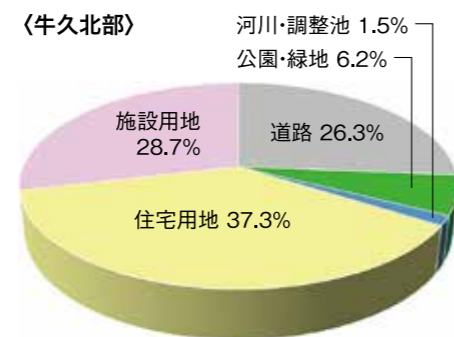
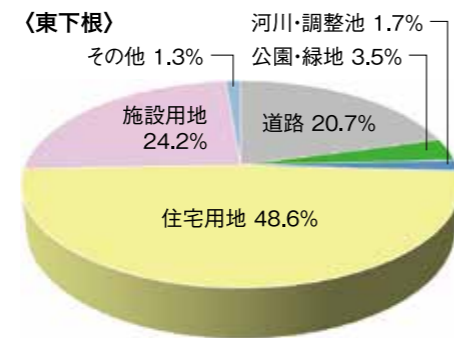
互いに隣接する東下根地区と牛久北部地区は、人人ニュータウンひたち野中央として整備されました。職・住・遊の3つの機能が一体となり、多機能複合でありながらゆとりのある環境の新しい市街地が形成されました。また、JR常磐線のかつての筑波万博中央駅跡地に、事業に合わせて「ひたち野うしく駅」が開業し、モダンな駅舎や東西を結ぶ自由通路などが整備されました。この「ひたち野うしく駅」を中心としたセンター地区は、業務核都市構想の拠点として、人人ニュータウンひたち野中央にとどまらない、より広域を対象とした新都心として、施設の誘致を図りました。

## 土地利用計画図 (平成17年5月現在)

※立地施設は、令和4年3月現在の情報に基づいています。



## 土地利用の割合



## 航空写真



平成25年撮影  
出典: 国土地理院ウェブサイト (<https://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>)